



飯田市議会 予算決算委員長 竹村 圭史 様

市長に令和6年議案第34号令和6年度飯田市一般会計予算（案）に減額の修正を行った上で再提出することを求める動議の提出について

このことについて、別紙のとおり提出します。

令和6年3月19日

飯田市議会議員 古川 仁
市瀬 芳明



市長に令和6年議案第34号令和6年度飯田市一般会計予算（案）に減額の修正を行った上で再提出することを求める動議

1 減額の修正を求める理由

昨年、JR東海は、リニア中央新幹線の開業は2027年以降になると明言しました。これを受け、少なくない市民から「ここは急いで開発の推進をしなくともじっくり構えて駅周辺整備を進めては」との声があります。

しかしながら、今回提出された令和6年度飯田市一般会計予算（案）は、昨年同様規模の一般財源を投入し、基金も大幅に切り崩し、予算総額が昨年を上回るものとなっています。

予算の審議を所管する分科会の審査においても「予算を立てる上で貴重な一般財源など福祉や暮らしに回そうとの議論をしたのか」との質疑に対し、「福祉とかりニアとか天秤にかけることはない。どちらも重要である」との答弁がされましたが、よくよく考え、以下の結論にたどり着きました。

リニアの開業が遅れること、物価高騰が続いており、社会情勢が不安定であること、能登半島地震を教訓により一層災害に備えること、移転を余儀なくされている方へ寄り添い丁寧な対応をすること、合わせて取り崩しが著しい財政調整交付金の扱いに見直しを求めたいこと、以上の点を踏まえ、ここはリニア関連工事を急がず、住民に寄り添い、声を聴き、問題解決に努め、その予算を市民の「命と暮らし」を守るために見直すべきと考えます。

以上の理由から、議案第34号 令和6年度一般会計予算（案）に減額の修正を求めます。

2 求める修正の内容

(1) 歳出について

2款総務費1項総務管理費17目リニア推進事業費の大事業10リニア推進事業費の中事業01リニア推進事業費139,188千円、中事業05リニア駅周辺整備事業費1,849,492千円、中事業07リニア代替地整備事業費182,362千円及び中事業08リニア用地取得事業費22,686千円の削除。

(2) 歳入について

上記歳出の財源となる一般財源、国県支出金、財産収入、寄附金、基金繰入金、諸収入及び地方債の減額。